

発行日 令和8年2月18日  
 発行者 電子情報技術産業企業年金基金  
 東京都千代田区岩本町1-11-2  
 A-RISE神田6F  
 (03-5809-3188)

## 企業年金基金の概況 (令和8年1月31日現在)

実施事業所数 169 社  
 加入者数 19,556 人  
 年金受給者数 797 人

### 1. 第17回 理事会・代議員会が開催されました

第17回代議員会が1月27日（火）に開催され、企業年金基金令和8年度事業計画及び予算をはじめ、代議員会に先立って行われた第17回理事会で決定された議案について、ご審議いただき、議決・承認されました。

#### (議決事項)

##### (1) 令和8年度事業計画について

令和8年度の事業計画は、昨年度と同内容にてご承認いただきました。  
 予算編成の基礎数値は以下のとおりです。  
 加入者数は、男子13,859人、女子5,411人、計19,270人と見込んでおります。  
 老齢給付・一時金給付は、令和8年度末で4,095人を見込んでおります。  
 各種ポータビリティ移換は、令和8年度末で264人を見込んでおります。

##### (2) 令和8年度予算について

年金経理の予算は、令和8年度掛金収入を7億6,191万円、年金・一時金の給付費を9億7,269万円、令和8年度末の年金資産（純資産）184億6,547万円と見込んでおります。  
 業務経理の予算は、令和8年度事務費掛金収入を1億6,187万円、支出を事務費、代議員会等会議費、雑支出等1億6,143万円と見込んでおります。

##### (3) 今後の年金資産運用計画について

内外株価は高値を維持しているものの、経済環境は不透明感が拭えない状況が続いています。基本的にはリスクを最小限としている現在の政策資産配分（国内債券35%・国内株式16%・外国債券12%・外国株式16%・代替資産20%・短期資金1%）を維持することとします。（現在、国内債券35%と短期資金1%は、令和5年1月23日開催の第11回代議員会決議により国内債券の10%を短期資金（現金）へ移動しています。）  
 なお、現在も株式の高騰が続いていることから、内外株式が政策配分の16%から3%を超えたらリバランスを行うこととし、超えた部分は短期資金へ移動します。  
 また、現在、国内金利の上昇局面でのマイナス収益を回避するため、国内債券35%の政策配分から10%を現金に回避しています。この現金に回避している資金を、今回新たに、第一生命保険株式会社の従来的一般勘定に代わる運用商品「有期型一般勘定（DB-GIC）」を国内債券の代替として採用します。  
 この商品は5年国債の利回りに0.5%～0.7%上乗せ金利を保証するものですので、確実に収益が見込めます。一方リスクは第一生命保険株式会社の破綻リスクのみです。

#### (4) 規約の一部変更について

◆ 給付裁定請求等の手続きのオンライン化を可能とすることについて  
 令和7年9月30日に「国民年金基金規則等の一部を改正する省令」が公布・発出されました。この改正により基金規約の一部を変更いたします。  
 改正点は、各種手続きが電子的方法（オンライン）で届出ができるようになりました。また、届出書の添付書類省略が拡大されました。  
 但し、まだ、基金事務体制が電子化に対応しておりませんので、先に規約を変更いたします。この規約は、令和8年1月27日から施行します。  
 基金事務体制が電子化に対応しましたら、改めてご案内させていただきます。

#### ◆ 確定拠出年金からの個人別管理資産の受入れについて

現在、当企業年金基金の他制度からの資産の受入れは、確定給付企業年金、企業年金連合会、存続厚生年金基金からとなっておりますが、加入者のポータビリティ（持ち運び）を拡充させるために、確定拠出年金制度からの個人別管理資産を受け入れ可能とする規約変更を行います。  
 この規約は、令和8年4月1日から施行します。

#### (5) 諸規程の変更について

◆ 「企業年金基金給付規程」の変更  
 年金制度における各種手続きのオンライン化や届出書の添付書類省略拡大を目的とした「国民年金基金規則等の一部を改正する省令」が、令和7年9月30日に公布・発出されました。  
 この事に伴い、基金規約と同様に給付規程も変更を行います。

#### (報告事項)

##### (1) 令和7年度第3四半期までの年金資産運用状況について

国内株式は、TOPIXが3月末2,658.73ポイントであったものが12月末では3,408.97ポイントそれに伴って収益も30.71%と大きく伸びました。  
 外国株式も日本株ほどではありませんが、指数は高値を更新し、NY Dowは3月末42,001ドル76セントが12月末48,063ドル9セント、21.09%の収益となりました。  
 国内債券は、金利上昇局面が続き収益はマイナスとなりました。  
 一方、外国債券は、米国金利が年度前半は上昇傾向となりましたが、年度後半は下げに転じています。金利の上下よりも為替による利差益が大きく、円ドルは3月末149円54銭が12月末156円75銭と大幅な円安となっています。外国債券の収益率は10.43%となりましたが、大半は為替によるものです。  
 令和7年12月末までの通期収益は11.02%となりました。（令和8年1月22日時点：12.61%）

##### (2) 諸規程の変更について

◆ 「職員給与規程」の変更  
 当基金の役職員給与は、国家公務員に準じて取り扱っております。  
 今般、国家公務員給与の人事院勧告が行われ、令和7年4月に遡り給与を全体で月額3.62%引き上げ、賞与を年間4.65ヵ月分となりましたので、当基金の職員給与表等につきましても、同様の変更を行います。

このニュースは、事業主と事務担当者向けに編集してありますが、できれば各職場の皆様にもご覧いただけるよう配慮願えれば幸いです。

---

(3) 理事長専決処分について

前回の代議員会以降で、実施事業所について下記の変更がありました。

◆ 事業所の名称変更 [1件]

株式会社フェローテックホールディングス ⇒ 株式会社フェローテック

(令和7年7月1日変更)

(4) 第3期 選定代議員の選出及び理事補欠選挙結果について

◆ 第3期選定代議員の選定（選出）について

第3期選定代議員に1名の欠員が生じておりましたので、令和7年9月26日に選定会議を行い、協議の結果、選定人下田様より小林工業株式会社の「柳田 吏」様を指名いたしました。

◆ 第3期理事補欠選挙結果について

第3期選定理事に1名、互選理事に1名の欠員が生じておりましたので、令和7年10月24日に選挙を行うこととしておりましたが、理事立候補者数が選挙すべき理事数を超えないため、無投票により小林工業株式会社の「柳田 吏」様が当選いたしました。

(任期は令和9年1月19日迄です。)

※ なお、この第17回理事会・代議員会の詳しい内容については、令和8年3月下旬に発送予定の機関紙「基金だより第16号2026.3」に掲載いたします。

## 2. 基金業務スケジュールについて

令和 8年 2月分の届書の締切日	令和 8年 3月10日 (火)
令和 8年 2月分掛金納入告知書等発送・配信日	令和 8年 3月18日 (水)
令和 8年 2月分掛金の納付期限・振替日	令和 8年 3月31日 (火)

郵便事情により日数がかかる場合がありますので、余裕をもってご提出ください。  
電子連携サービスをご利用いただきますと、締切日当日に届書を提出することができます。  
ご不明な点等ございましたら、業務課（電話：03-5809-3189）までご連絡ください。

---